

2024年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年6月14日

上場会社名 株式会社アースインフィニティ 上場取引所 東
コード番号 7692 URL https://www.earth-infinity.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 幸一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 松田 ありさ (TEL) 06-4967-2222
四半期報告書提出予定日 2024年6月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期第3四半期の業績 (2023年8月1日~2024年4月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第3四半期	3,699	△12.2	157	△71.9	114	△77.4	56	△84.8
2023年7月期第3四半期	4,213	26.9	559	—	505	—	375	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年7月期第3四半期	0.52		—					
2023年7月期第3四半期	3.41		—					

(注) 当社は2022年11月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割、2023年3月17日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割、2023年5月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、当該分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第3四半期	2,142	794	37.1
2023年7月期	2,584	858	33.2

(参考) 自己資本 2024年7月期第3四半期 794 百万円 2023年7月期 858 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	—	0.00	—	1.10	1.10
2024年7月期	—	0.00	—	—	—
2024年7月期(予想)	—	—	—	1.30	1.30

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年7月期の業績予想 (2023年8月1日~2024年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,774	△8.9	288	△51.4	281	△44.5	251	△35.0	2.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期3Q	110,131,200株	2023年7月期	110,131,200株
② 期末自己株式数	2024年7月期3Q	1,008株	2023年7月期	1,008株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期3Q	110,130,192株	2023年7月期3Q	110,130,287株

(注) 当社は、2022年11月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割、2023年3月17日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割、2023年5月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。そのため、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6
(収益認識関係)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、個人消費や輸出の一部に弱さが残るものの、設備投資の回復基調を受けて景気が緩やかに回復してきており、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。しかし、足下の物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等により経済の先行きに注視が必要な状態にあります。

このような環境の中で、当社は、『人や仲間が集まり続け 求められ応え続ける会社』という理念のもと、脱炭素社会実現への取り組みとして再生可能エネルギー開発への投資やSDGsに関する企画への参画を行い、中長期的な事業戦略目標の達成に向け、当期は代理店による顧客獲得のための投資に重点を置いて、事業活動を行ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における当社の業績は、売上高は3,699百万円（前期比12.2%減）、営業利益は157百万円（前期比71.9%減）、経常利益は114百万円（前期比77.4%減）、四半期純利益は56百万円（前期比84.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(エネルギー事業)

エネルギー事業におきましては、売上を継続的に獲得できる基盤作りを目指し、中小企業及び一般家庭を中心に、代理店による電力及びガスの営業活動を行い、契約数の増加に注力してまいりました。

また、当社独自の燃料費等調整額（電力市場調達コスト及び容量市場に対する安定供給維持管理費を電気代に反映する仕組み）の導入により日本卸電力取引所の価格高騰に対するリスクヘッジを図り、2024年4月1日より実施された容量市場への対応を行いつつ、卒FITの買取や蓄電池と太陽光パネルの販売を推進するなど、安定的な業績成長と脱炭素社会に向けた取り組みを行ってまいりました。

これらの結果、売上高は3,581百万円（前期比12.2%減）、セグメント利益は414百万円（前期比47.3%減）となりました。

(電子機器事業)

電子機器事業におきましては、既存顧客のリソースアップに伴うリプレイス販売を中心とした営業活動の結果、売上高は118百万円（前期比13.6%減）、セグメント利益は20百万円（前期比37.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ441百万円減少し、2,142百万円となりました。主な要因は、売掛金が138百万円増加したものの、投資有価証券が39百万円、現金及び預金が543百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ377百万円減少し、1,348百万円となりました。主な要因は、短期借入金が200百万円、長期借入金が97百万円、買掛金が29百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ64百万円減少し、794百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が64百万円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

エネルギー事業におきまして、中東地域情勢の変化による世界的な資源価格高騰の影響や、それに伴う国内の電気料金及び電力調達価格変動のリスクヘッジとして、また2024年4月1日より実施された容量市場へ対応するため、当社独自の燃料費等調整額（電力市場調達コスト及び容量市場に対する安定供給維持管理費を電気代に反映する仕組み）を導入したことにより利益が安定しているため、現時点では軽微であると考えております。他の要因を含め公表すべき事実が発生した場合には速やかに開示いたします。

通期の業績予想につきましては、業績が好調のため想定範囲内に推移しており、当社を取り巻く景況感も概ね想定内であることから、現時点では2024年3月15日に公表しました「2024年7月期第2四半期業績予想と実績値の差

異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年7月31日)	当第3四半期会計期間 (2024年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	962,505	419,285
売掛金	616,515	754,605
棚卸資産	5,539	3,206
その他	103,046	160,918
貸倒引当金	△5,000	△6,112
流動資産合計	1,682,607	1,331,904
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置(純額)	392,084	406,155
その他	149,292	108,504
有形固定資産合計	541,376	514,659
無形固定資産	3,734	5,234
投資その他の資産		
投資有価証券	115,497	76,247
差入保証金	195,835	194,765
その他	52,385	22,137
貸倒引当金	△7,051	△2,508
投資その他の資産合計	356,666	290,641
固定資産合計	901,778	810,535
資産合計	2,584,386	2,142,439
負債の部		
流動負債		
買掛金	313,293	284,079
短期借入金	400,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	148,330	134,473
未払法人税等	72,653	34,772
賞与引当金	6,637	10,580
その他	98,725	95,552
流動負債合計	1,039,638	759,458
固定負債		
長期借入金	586,055	488,569
社債	100,000	100,000
固定負債合計	686,055	588,569
負債合計	1,725,693	1,348,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	144,974	144,974
資本剰余金	135,818	135,818
利益剰余金	578,013	513,732
自己株式	△114	△114
株主資本合計	858,692	794,411
純資産合計	858,692	794,411
負債純資産合計	2,584,386	2,142,439

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)
売上高	4,213,973	3,699,729
売上原価	2,958,283	2,702,797
売上総利益	1,255,690	996,931
販売費及び一般管理費	696,381	839,616
営業利益	559,308	157,314
営業外収益		
受取利息及び配当金	4	7
その他	448	1,165
営業外収益合計	452	1,172
営業外費用		
支払利息	5,359	4,599
匿名組合投資損失	47,971	39,249
その他	715	448
営業外費用合計	54,045	44,298
経常利益	505,715	114,188
税引前四半期純利益	505,715	114,188
法人税、住民税及び事業税	136,884	33,572
法人税等調整額	△6,319	23,753
法人税等合計	130,564	57,326
四半期純利益	375,150	56,862

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額(注) 2
	エネルギー事業	電子機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,076,792	137,181	4,213,973	—	4,213,973
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,076,792	137,181	4,213,973	—	4,213,973
セグメント利益	787,402	32,584	819,986	△260,678	559,308

(注) 1. セグメント利益の調整額△260,678千円は、主に本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額(注) 2
	エネルギー事業	電子機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,581,269	118,459	3,699,729	—	3,699,729
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,581,269	118,459	3,699,729	—	3,699,729
セグメント利益	414,895	20,521	435,416	△278,102	157,314

(注) 1. セグメント利益の調整額△278,102千円は、主に本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間(自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	エネルギー事業	電子機器事業	
電気販売	3,619,782	—	3,619,782
ガス販売	242,136	—	242,136
蓄電池及び太陽光パネル販売	195,351	—	195,351
電力基本料金 削減コンサルティング	—	137,181	137,181
その他	19,521	—	19,521
顧客との契約から 生じる収益	4,076,792	137,181	4,213,973
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	4,076,792	137,181	4,213,973

当第3四半期累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	エネルギー事業	電子機器事業	
電気販売	3,212,266	—	3,212,266
ガス販売	221,315	—	221,315
蓄電池及び太陽光パネル販売	101,810	—	101,810
電力基本料金 削減コンサルティング	—	118,459	118,459
その他	45,877	—	45,877
顧客との契約から 生じる収益	3,581,269	118,459	3,699,729
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,581,269	118,459	3,699,729

(重要な後発事象)

該当事項はありません。